

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年 5月 13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690800018
法人名	株式会社 みさき
事業所名	グループホーム みさき
所在地	鹿児島県出水市荘850-3 電話 0996-64-2780
自己評価作成日	H25. 3. 1

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成25年3月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

春には施設の周りに桜が咲き誇り、冬には飛来した鶴が観られる田園地帯に位置しており、環境にも恵まれ広い敷地内を自由に散策されたり、家庭的な雰囲気の中で寛いで頂き、利用者様の思いを尊重し、その人らしい生活を送って頂けるようにスタッフが支援しています。ご家族とのコミュニケーションを行い、ケアプランに反映出来るように取り組み、入所者様と共に歩む施設を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ホームは出水市郊外の田園が広がる国道沿いに建てられているが、日当たりの良い敷地は広く、比較的静かでゆったりとした雰囲気が漂っている。また、リビングやテラス等の共用空間からは山並みや田園風景を望め、季節を感じながら過ごすことができる。天井も高く明るく開放的であり、落ち着いてゆったりとくつろげる住環境である。

○利用者のご家族とは来訪時や敬老会・忘年会・バラ園見物時の家族会の際に、話しやすい雰囲気作りを工夫して多くの意見を頂いている。また、家族会の設立により家族同士の話し合いも行なわれ、ご家族と職員が連携して、利用者がより暮らしやすくなるように支援している。

○管理者及び職員は、利用者の思いや意向、また日常の変化などについて、利用者及び家族とのきめ細かな対話や利用者観察から把握に努め、可能なことは適切にケアに反映させようとする強い意志が感じ取れ、利用者や家族にとって安心を与えるホームである。

○代表者や管理者は、職員に対して日頃から話しやすい雰囲気作りを努めると共に、利用者にとってより良いケアの実現のために、職員が働きやすい環境になるよう取り組んでいる。職員同士の連携も良好であり、申し送りやスタッフ会議等でもケアに関する意見交換は活発で、これらを検討して業務やサービス内容の改善に具体的に繋がっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	住み慣れた地域で、その人らしい生活を送って頂けるようにという思いで作った。リビングの目に入りやすい所に提示し理念に沿ったケアを心がけている	法人としての基本理念に加え、職員全員で作成したホーム独自の理念を掲げ、その人らしさを大切に自宅と同じ暮らしをして頂けるように日々支援に取り組んでいる。朝夕の申し送りや月1回のスタッフ会議を通じて理念の意義を振り返り、理解を深めるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、地域との交流の場が持てるよう心掛けている。地元の小学生達がお花のプレゼントやリコーダー、歌なども披露しに来て楽しませてもらっている	自治会に加入して地域の小学校の運動会等の見物に出かけると共に、ホームの敬老会等の行事には、家族や地域の方々の参加があり、ボランティアや小学生の踊り・歌などを利用者は楽しんでいる。また、高校生やヘルパー講座受講者の職場体験の受入や地域の方々が草取りや会話で来訪されるなど交流の機会が多い。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	家族の方や地域の方に認知症の理解と支援方法について学んで頂くために、認知症サポーター養成講座を受講して頂いた。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政、自治会長、民生委員、家族会代表に参加して頂き、施設の活動状況等を報告し、意見や得た情報をサービス向上に活かしている	会議は地域包括支援センターや市の職員・民生委員・地域の自治会長・警察や消防署職員・家族等多くの委員の参加を得て定期的に開催されている。ホームの現況報告や行事・課題等について活発な意見交換が行われ日々のサービス向上に役立てると共に、認知症サポーターの養成講座の開催等も実現している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	利用者に関する事や業務について包括支援センターや介護保険課の方より助言や指導を頂き問題解決に取り組んでいる	市の担当者には運営推進会議や敬老会に参加して頂くと共に、電話や訪問により利用者の暮らしぶりやニーズを具体的に伝えて、助言・対応して頂いたり、必要な情報交換や意見交換を行い協働関係を築くように努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	指針を作り身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関は施錠することなく自由に外へ出て行けるようにしているが、国道に面しているため門は閉めている。門外へはスタッフが同行するようにしている	職員は連携して見守りの徹底を図り、言葉をさえぎることや気持ちの押さえつけ防止には、日々のケアやスタッフ会議等を通じて繰り返し話し合っ理解を深め、安全確保やその人らしい暮らしを支援するケアへの反映に努めている。職員は常に利用者の状態や行動の把握に努め、外出時は職員が付き添い、玄関や居室に鍵をかけない自由な暮らしを実現している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	身体的だけでなく、ネグレクト、心理的虐待等についても知識を高め無理強いしないケアに努めている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在では必要性が無いいため学ぶ機会が少ないが、今後活用できるように支援して行きたい		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約書、重要事項で説明し不明な点がないか尋ねるようにしている。医療連携、重度化、入院、退所に関しては十分に説明を行い、同意を頂けるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の意見や要望は随時対応出来るように心掛けている。家族の方に対しては電話や来所の際、話す機会を必ず作り対応できるようにしている。	利用者の意見や思いは表情や所作から把握に努め、ご家族とは来訪時や敬老会・忘年会・バラ園見物時の家族会の際に、話しやすい雰囲気作りを工夫して多くの意見を頂いている。職員は申し送りノートで情報を共有し、必要場合はスタッフ会議等で対応を話し合い、速やかに本人・家族に報告してケアへの反映に努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフの意見や提案は随時聴きより良いケアに繋がられる様に対応している。	代表者や管理者は、利用者に対するケアをより良いものにするために、日頃より話しやすい雰囲気作りに努め、日常の業務の中での対話の他に、朝夕の申し送りや毎月のスタッフ会議等を通じて職員の意見や提案を聞き取っている。これらを職員と連携して業務改善やサービス向上に反映するように取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の個々の努力や実績等は評価し、給与や賞与に反映し向上心が持てるように努めている。資格取得に向けた支援や労働時間と認めることなど働きやすい環境、条件の整備に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人外の研修は、スタッフ全員が平等に受けられる様に配慮している。介護の経験が無くても、スタッフ間で協力し合い、経験のあるスタッフが育成に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者は同地区の管理者同士不定期ながら交流の場を持ち、協力し合いお互いに相談したりしながらサービスやケアの質を高める努力をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所者様の話を聴き、生活状態を把握し、困っている事や不安を取り除いてさし上げられる様に寄り添い、安心して過ごせる環境作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族が日頃から困っている事、不安などや要望、思いなどを聴いて信頼関係を築けるように努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現在の状況を見極め、今必要と思われる支援を考え、ご本人、ご家族と相談し早期対応に努め、他のサービス期間へも連絡を取り提案紹介をするなどの支援をしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人の生活習慣を尊重し、日々の生活の生活を通して個々の能力に応じた行事の作品作りなど一緒に行い、共感したり、支え合う関係を築くようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の困り事や相談に乗ったり、家族会や行事の参加を通じて施設での日々の生活状況を見て頂き、本人とのコミュニケーションが図れるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの田畑、本人の住居周辺のドライブを交えながら、四季折々の変化を味わってもらえるよう計画を立て、遂行している。	ご家族を始めとして、利用者の知人や友人の来訪の機会は多く、居室やリビングでゆったりと過ごせるように配慮すると共に、電話や手紙の取次ぎ等の支援も行なっている。本人が希望する買い物やドライブ等の同行にも努め、ご家族との食事や温泉・美容室・墓参り等にも可能な限りの配慮がなされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日体操やレクリエーションの参加を求め、全員で楽しめるよう努めている。またテーブルの席も入所者同士のトラブルが起きないように配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院を余儀なくされ、退所された方に対しても様子を伺いに行ったり、家族の方とも顔なじみとなって今でも色んな相談を受けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	拒否や抵抗も個人の訴えと受け止め、無理強いしないで本人の意向を重視してケアを行っている。	日頃より声かけもまめに行い、利用者の言葉や表情・所作から思いや意向をくみ取るよう努力し、ご家族の来訪時には必要に応じて職員が談話に加わり把握に努めている。収集した情報は申し送りノートで職員は共有し、その人らしい暮らしを送れるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの個人情報を集約し、分析を行いスタッフ会議で全員が把握出来るよう取り組んでいる		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	洗濯物畳み、清掃といった一日の生活の流れに添い、出来る事、出来ない事を把握し、本人に合ったやり方で一日を過ごしてもらうようにしている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフ会議や家族会を利用しカンファレンス、モニタリングを行っている。重点課題がある場合は日々の日勤帯で常にカンファレンスを行い、連絡ノートを利用し、連携を取っている。	遠方のご家族からは電話で意向や希望を聞き取っているが、原則として本人、家族も参加した担当者会議で話し合いながら計画を作成している。主治医の意見は病院受診時に確認すると共に、関係者・職員の意見も反映させている。変化する利用者や家族の意向や状況も日頃から把握に努め、それらを基に計画の見直し修正が適切に行なわれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や気づいた事をケース記録に残している。ケアについては毎朝の申し送りや記録ノートを使用したり、スタッフ会議で話し合いをして個々の介護計画の改善や見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入所者様の状況に応じ、満足して頂けるよう様食事や入浴の時間、ホーム内での過ごし方、外出など多岐にわたって援助出来るように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	職員間で、より豊かな暮らしが楽しめるように情報を出し合っている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医の先生方と情報交換し、休日、夜間の急変時にも対応して頂ける体制作りをしている。また、他科受診が必要な時は家族に説明をして同意を頂き、受診後はかかりつけ医に報告している。	利用前の受診経過は十分把握し、ご家族とも分担して本人や家族の希望するかかりつけ医への通院もしくは訪問診療を支援している。ご家族との受診時は体調管理表と連絡メモで医師に状況をお伝えし、受診結果は家族から情報を得て「通院記録」で職員は共有できている。かかりつけ医とは緊急時にも適切な医療が受けられるよう情報交換に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調に変化がある時は職場の看護師に報告している。必要時はかかりつけ医院の受診を行っている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	地域医療連携室とも連携を取り、入院中の日常生活や服薬、退院に向けての情報交換を行っている。入院中は職員が面会に行き様子を伺っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族に病状の変化を説明し、重度化した場合についての意向を確認している。	重度化や終末期のケアについては、ホームで対応できる方法について方針を文書に定め、本人やご家族に十分説明して同意を得ている。医師や看護師を含む職員との連携を密にして、本人や家族と十分に話し合い、ホームで行える支援を実施できる体制を築いている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時は意識レベルや外傷の有無を確認している。また、どの職員も対応出来るようなマニュアルを作成し対応している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力を得たり、また独自にも特に夜間スタッフが少ない時を想定して避難訓練を定期的に行っている。地域の消防団に協力を得て災害時、協力を得られる様に声掛けをしている	消防署の協力及び近隣の温泉施設の職員にも利用者の見守りで参加して頂き、年1回は消火訓練及び避難訓練を行っている。また、主に利用者の搬送方法や避難経路の確認のため、職員で年数回の自主訓練も実施している。スプリンクラー等の設置や食料・飲料水の備蓄も問題はなく、看護師による救命講習も実施している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩であるという尊敬の気持ちを持って言葉使いにも注意している。失禁時は自尊心を傷つけないよう配慮をしながら声掛け対応している。	日々の暮らしの中で、利用者の誇りやプライバシーを損ねないように、丁寧な声かけや対応を心掛けている。接遇や個人情報保護・認知症ケア等に関する勉強会もスタッフ会議で実施すると共に、個人記録等の取扱いにも十分配慮をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	どうされましたか？どうしたいですか？という、意思の確認や本人の小さな希望も表出でき。自分で決めて行けるような声掛けに努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	午前中はレクリエーションを実施しているが、参加したい方のみ参加し、自室で過ごされたい方は、本人の希望やペースに合わせた時間の過ごし方に配慮している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自分で洋服を選ばれる方には自分で選んで頂く。「私もあげん服が欲しか」と言われる方には家族に相談。購入してもらう事もある。髪は2ヶ月に1回程度カットしてもらっている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	刻み食の方にも彩り等に配慮している。また誕生会はケーキや刺身があり、皆さん喜んで食べられる。出来ない方もいらっしゃるが、野菜の下ごしらえや食後のテーブル拭きなどして下さる	基本の献立に頂いた旬の野菜や利用者の好みを反映させて利用者の楽しみにつなげている。野菜の下ごしらえ、食卓の準備・後片付けなど、個々に応じた役割が担えるようにも支援している。家族も参加の弁当持参の花見やホームでのソーメン流し・季節の行事食・敬老会や誕生会等の特別食・手作りおやつを提供など様々な工夫も取り入れている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一度に必要な摂取量等の記録を取る事で体調管理をし、足りない分はそれぞれの不足分を捕食等で補う様にしている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。歯磨きの一部介助を行ったり、義歯は夕食後に入れ歯洗浄剤に浸けている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個人個人の排泄記録を取り、排泄パターンを把握。トイレ誘導し下剤服用やオムツの使用については看護職員を交え検討し、自立支援に取り組んでいる	利用者の様子観察や個々の排泄記録の活用で個々のパターンを把握し、誘導や声かけを工夫して排泄の自立のための支援を行なっている。全ての居室にはトイレが設置されており、職員は連携して羞恥心や不安の軽減も含めて、個人の習慣や身体機能に応じた排泄支援になるように努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録を取り、水分摂取量、食事量、一人一人の行動パターンの運動量をチェックし、不足分は補助し、便秘の度合いによっては主治医の指示で下剤に頼る事もある		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴者はバイタルチェックを行い、体調が悪かったり、拒否があったりするので、入浴の順番を替えたり、その日の状態では自分ひとりの判断では決めずスタッフと話し合いながらおこなっている入浴中には声掛けしながら利用者の体調を見守りながら対応している	利用者の健康状態に配慮しながら、場合によっては清拭や足浴への変更も含め、基本的には週3回入浴して頂いている。入浴を拒否される場合には、時間帯や順番・職員の交替・声かけの工夫等で入浴を楽しめるように支援している。夜間の更衣時には必ず清拭も行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間帯は声掛けで入所者のペースに合わせて入床して頂き、排泄の介助者にはセンサーを設置しその時々体調に合わせた無理の無い、急がせない態度での支援を心掛けている		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	夜勤者が翌日一日分の薬をセットするが、誤薬が無いように時間に余裕を持って出勤し、薬をセットする時はそれだけに集中して準備している。処方が変わったり薬の内容が変わったりすることがあるので申し送りノートを見たり、スタッフ同士で確認し注意しながら対応している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常の挨拶、声掛けで入所者とのコミュニケーションを取り、入所者が笑顔になれる様と同じ目線で対応し、日常出来ることは率先してやってもらい役立っているということの満足感、達成感の支援を行っている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天気の良い日は、外のベンチで日向ぼっこをしたり、園内を散歩したりと無理のない程度のテンポで対応し、スタッフと共に四季折々の花を見に行ったり、鶴見学に行ったりと、スタッフが計画しながら心の変化を支援している。	日当たりの良い庭は自由に散策ができ、天気の良い日は外気浴や庭でのお茶会が行なわれている。また、利用者の健康状態や天候を見ながら、時にはご家族の協力も得て、散歩や買い物・ドライブ・墓参り・一時帰宅などを始め、季節の花見・つるやクリスマスイルミネーションの見物等に出かけ、可能な限り外出が楽しみになるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭の自己管理が難しいため、基本的には家族に管理を依頼し、共に外出の際本人の希望の品物を買って頂いたりしている</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>なかなか会えない遠方の家族からの送り物や手紙が届いた時お礼の電話をして頂いたり、電話をもらおうと取り次いで話をしてもらったりしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天窓や大きい窓からの明るい光が差し込み、広々とした空間でゆったりと過ごして頂いている。またカレンダーや壁飾り等季節に応じて一緒に作り、施設内においても季節感を味わって頂いている</p>	<p>リビングやテラス等の共用空間からは山並みや田園風景を望むことができ、季節を感じながらゆったりと過ごすことができる。廊下・リビングにかけてのスペースは、天井も高く明るく開放的であり、畳のスペースやソファ・季節の手作り品等も配置され、落ち着いてくつろげるように工夫されている。敷地内は自由に散策ができ、テラスにはベンチも置かれ、自然を感じながら日光浴もできるすばらしい環境である。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>個室からは田園風景が眺められ、また屋内外の随所にはソファやベンチが設置されており、入所者にも居心地良い場所で過ごして頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>寝具は本人が使い慣れた物を持ち参して頂いている。家具も持ち込まれ、より在宅に近い雰囲気の中で過ごして頂いている。</p>	<p>居室にはベッドやエアコン・クローゼットがホームより準備され、トイレも全室に設置されている。本人や家族の希望で、使い慣れた寝具や家具・身の回りの日用品等を自由に持ち込んで頂き、本人が落ち着いて過ごせる環境になるよう支援している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>施設内のバリアフリー、動線に合わせて手すりが設置されている、各居室も寝具や家具の配置は個々の状況により配置を工夫している</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない